

第123回日本産科麻酔学会学術集会 特別講演

123th Annual Meeting of Japan Society for Obstetric Anesthesia and Perinatology

特別講演1(第一会場)

2019年11月23日(土・祝) 講演 16:30~17:30 サイン会 17:30~18:00

「医療と文学は社会のためにある」

海堂 尊

医師・作家

1961年千葉県生まれ。

外科医、病理医を経て、現在は放射線医学総合研究所・放射線医学病院研究協力員。

2006年、「チーム・バチスタの栄光」で第4回「このミステリーがすごい！」大賞を受賞し作家デビュー。

同シリーズは多数映像化され、累計1千万部を超える。

2018年には『ブラックペアン1988』(講談社)がドラマ化、TBS日曜劇場で放映。

また、キューバ革命の英雄チェ・ゲバラの生涯を描く「ポーラスター」シリーズを執筆中で、

週刊文春にて「ポーラスター外伝フィデル！」を連載中。

最新刊は「氷獄」(KADOKAWA)



特別講演2(第一会場)

2019年11月24日(日) 講演 13:30~14:20

「生命を預かるチームの更なる現場力の向上を目指して」 ～ノンテクニカルスキルによるチーム運営術～

山口 孝夫

1957年神奈川県生まれ。日本大学理工学部機械工学科航空宇宙工学コース(現在は、航空宇宙工学科)卒業。

日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士後期課程単位取得退学。博士(心理学)。

1987年4月、宇宙航空研究開発機構(当時は、宇宙開発事業団)入社。入社以来、一貫して国際宇宙ステーション計画に従事。これまで、「きぼう」日本実験棟の開発及び運用、宇宙飛行士選抜及び訓練、そして宇宙実験に関する業務を担当。

2018年3月、宇宙航空研究開発機構を定年退職。同年4月、有人宇宙システム株式会社に入社。

現在、民間企業等に訓練を提供する業務を担当。

主な著書は、「生命を預かる人になる(ビジネス社)」、

「宇宙飛行士の採用基準(KADOKAWA / 角川書店)」、

「宇宙飛行士だけが知っている最強のチームの作り方(大和書房)」。



第123回日本産科麻酔学会学術集会

会 期：2019年11月23日(土・祝)、24日(日)

会 場：昭和大上條記念館 東京都品川区旗の台1-1-20

学術集会長：加藤 里絵(昭和大医学部麻酔科学講座教授)

テ ー マ：産科麻酔の役割

学会事務局：昭和大医学部麻酔科学講座／大江 克憲

昭和大医学部産婦人科学講座／松岡 隆

【お問い合わせ先】

株式会社DEPOC医療支援事業部(担当:安岡俊雅)

TEL 045-471-0560 FAX 045-471-0561

E-mail jsoap123@s-depoc.jp